

## 背景・目的

四国ではインバウンド増加に伴い**レンタカー需要の拡大**が見込まれるが、利用実態や受入体制に関するデータが不足している状況であった。そこで、本調査を行い**現状と課題を把握し、観光関係者と共有**することで、**今後の観光施策や受入環境整備**に活用する。

## 取組内容

### ① レンタカー会社に向けた受入実態調査

- ▶ 四国内の主要レンタカー事業者に対するアンケート調査
- ▶ 調査内容：インバウンド利用数、国籍・予約経路、貸出オペレーション（多言語対応、ナビ、トラブル発生時の案内）、課題・要望等
- ▶ 実施方法：四国四県の空港周辺および主要拠点のレンタカー事業者の営業所を対象にメール等にてアンケートを送付



### ② インバウンド旅行者へのレンタカー利用実態調査

- ▶ インバウンドのレンタカー利用者に対してのアンケート調査
- ▶ 調査内容：国籍、年齢、訪日回数、貸出場所、情報収集手段、満足度、課題、立ち寄りスポット、旅の経路等
- ▶ 実施方法：四国四県の空港周辺および主要拠点のレンタカー事業者の営業所にて、アンケートのQRコードを配布し、回答してもらうとインセンティブがもらえる仕組み
- ※加えて一部店舗にて参考資料として動態データ取得のためのGPS調査を実施
- ▶ 時期：11月～1月

※加えて一部店舗にて参考資料として動態データ取得のためのGPS調査を実施

▶ 時期：11月～1月



### ③ 交通マナー等啓発のための既存コンテンツを活用した多言語案内シートの作成

- ▶ 他の公的機関等が作成している既存のコンテンツを、貸し出し窓口で簡便にインバウンド利用者に対して案内できるようなシートを作成した。



## 事業成果

本事業では、事業者11社・41店舗への調査、利用者アンケート290件、GPS動態調査11サンプルを実施した。その結果、利用者の約9割が東アジア市場で、総合満足度は96%超と高い一方、事故対応や保険理解、運転ルールに対する不安が課題であることが明らかとなった。市場別県別の傾向も確認できた。あわせて多言語交通安全案内シートを作成・配布し、報告会を通じて四国内の観光関係者に成果を共有することで、今後の受入環境整備や誘客施策検討に資する基礎資料を整備した。